



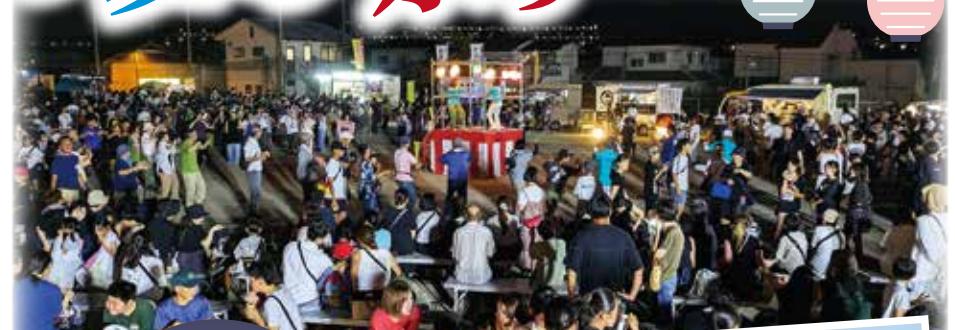
きずな

第79号

令和7年第3回定例会

- 発行／合志市議会
 - 編集／議会広報調査特別委員会
 - 〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
 - TEL 096-248-2038
 - FAX 096-248-2047
 - E-mail:gikai@city.koshi.lg.jp
- 令和7年11月19日発行

合志を彩る夏の祭り



祭 りは、市の指定文化財で、五穀豊穫や畜産振興を祈願する、竹迫地区一帯で約800年続くとされている。

上町・下町・横町がそれぞれ、太鼓を乗せた木製の台車「ドランジャー」を引いて地区の交差点でぶつけて連結、竹迫観音堂に奉納した。

合志小4～6年生約30人が、消防団員（地区の若衆）がたたく太鼓の拍子に合わせ、息の合った音色を響かせていた。

昭 和45年の盆踊り大会が、起源と言われている。その後、形を変え、名前も変わって現在の姿となった。小学生の神輿入場から始まる、須屋区夏祭り。

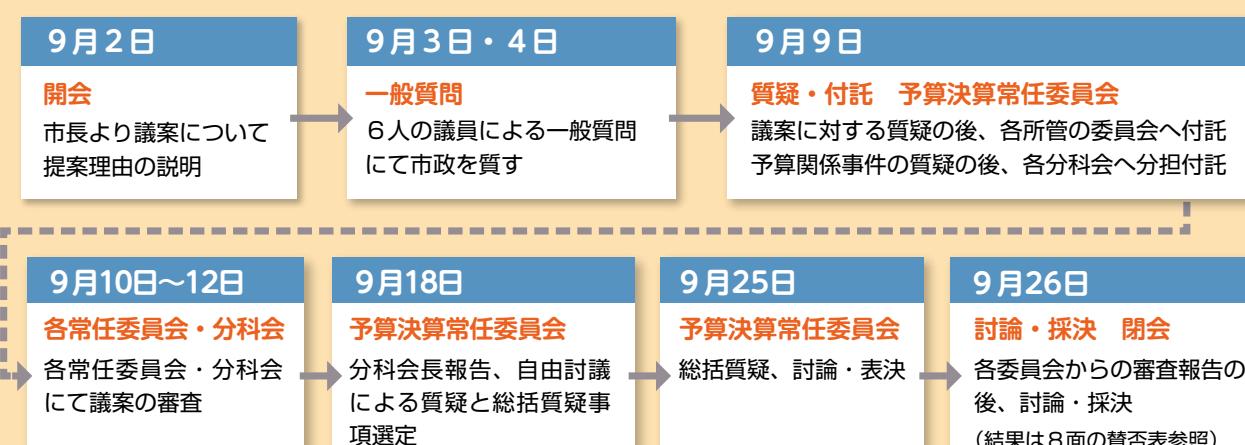
こどもたちが地域を盛り上げ、約2000人程の区内外の方が夏の夜を楽しんでいた。



夕 暮れの空の下、ステージいっぱいに広がるこどもたちの笑顔とエネルギー！

そろいの衣装に身を包み、力強くポーズを決める姿に、会場からは大きな拍手が。地域の絆を感じる、心あたたまるひとときであった。

合志市議会 9月定例会の流れ



もくじ

CONTENTS

- 夏祭り 1
- 9月定例会の流れ 1
- 令和6年度一般会計歳入歳出決算 2, 3
- 令和6年度特別会計・
企業会計歳入歳出決算 2
- 令和7年度一般会計補正予算 3
- 条例改正等、予算決算常任委員会の審査概要 4
- 常任委員会・分科会の審査概要 5
- 意見書、市民との意見交換会 6
- 一般質問、菊池地域2市2町議員研修、
献穀事業、行政視察 7
- 賛否一覧表、次回定例会日程、編集後記等 8

令和6年度 岁入歳出決算を

一般会計歳入決算総額 308億4,835万6千円 (決算書より)

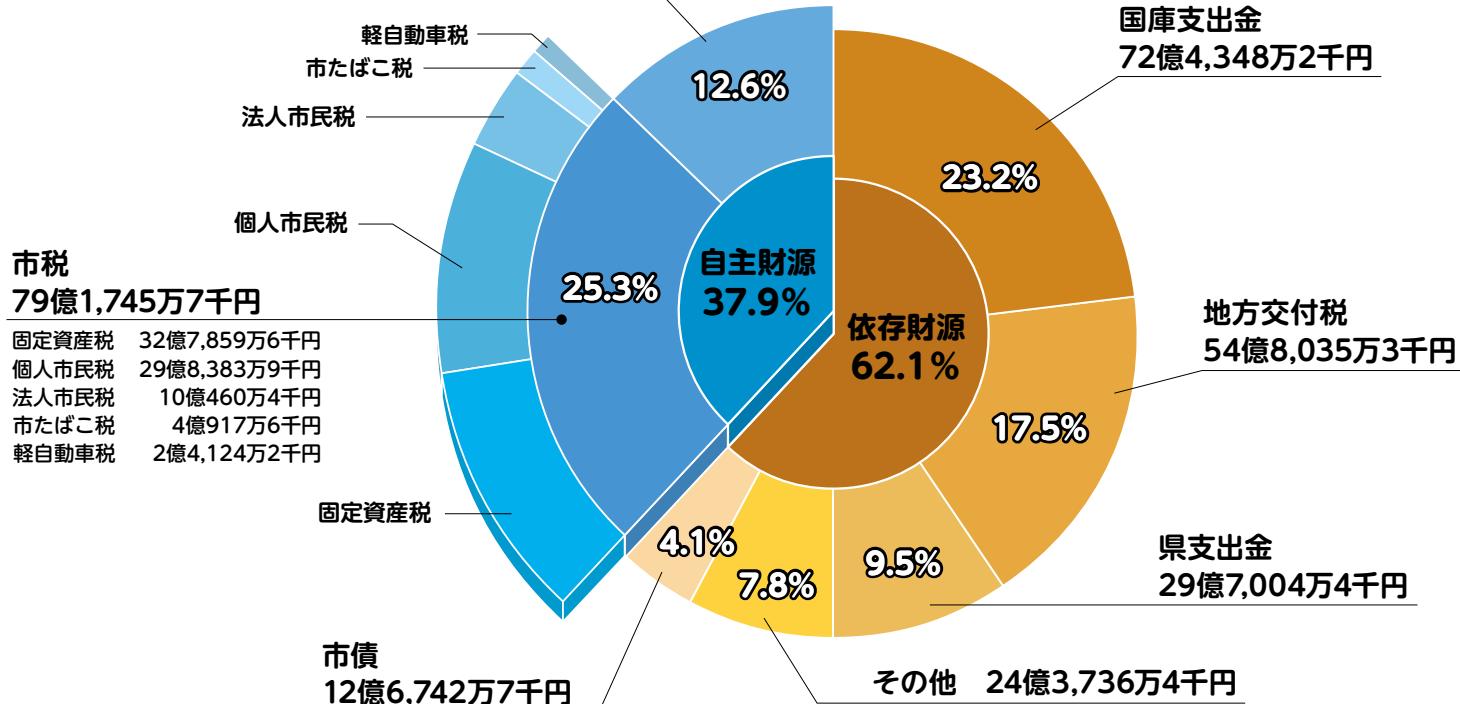
前年度に比べ、 6.17% 17億9,281万円増加しています。

(主な要因) 地方交付税 7億6,590万7千円の増
物価高騰対策のための国庫支出金 8億1,598万8千円の増

一般会計歳入

その他 39億4,368万1千円

地方財政状況調査（決算統計）からみた決算のため、
金額や分類が上記決算額とは異なります。



歳入トップ3



市税………合志市に納められている税金です。
国庫支出金…国から交付されている資金で、使う目的は決められています。
地方交付税…地方公共団体の財政格差を調整するため、国から交付されている資金です。使う目的は合志市が決められます。

令和6年度特別会計・企業会計の歳入歳出決算

特別会計

	歳入決算額	対前年度比	歳出決算額	対前年度比
介護保険特別会計	52億2,959万7千円	2.8%増	50億8,846万1千円	3.1%増
国民健康保険特別会計	61億8,843万円	2.4%減	61億3,870万2千円	2.6%減
後期高齢者医療特別会計	9億6,109万1千円	18.4%増	9億5,554万3千円	18.4%増
工業団地特別会計	9億1,203万6千円	1406.8%増	9億898万円	1580.2%増
用地先行取得事業特別会計	4億1,870万円	124.3%増	4億1,870万円	124.3%増

企業会計

	収益的収入	対前年度比	収益的支出	対前年度比
	資本的収入	対前年度比	資本的支出	対前年度比
水道事業会計	9億3,378万円 1億2,859万円	1.7%増 92.3%増	8億3,385万3千円 8億1,916万2千円	10.5%増 5.8%減
工業用水道事業会計	5,615万円 0円	0.0% 皆減	3,687万2千円 79万1千円	18.9%減 皆増
下水道事業会計	17億7,670万1千円 11億4,918万2千円	3.7%増 168.4%増	14億5,776万4千円 18億936万4千円	4.8%減 101.6%増

認定しました

※令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び
資金不足比率の報告を受けました

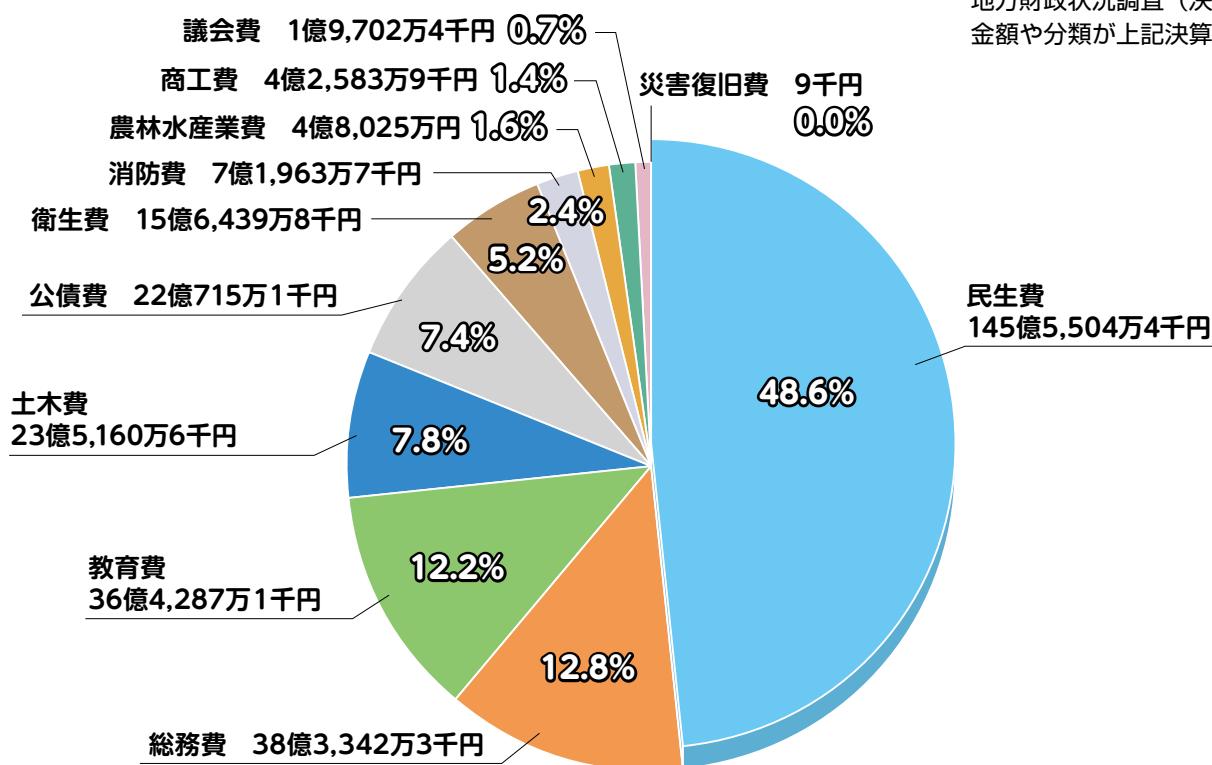
一般会計歳出決算総額 295億6,579万9千円

(決算書より)

前年度に比べ、7.7% 21億1,857万7千円増加しています。

(主な要因) 総務費 15億7,368万8千円の増 (定額減税補足給付金等)
民生費 2億2,621万4千円の増 (保育所等施設整備補助金等)

一般会計歳出



地方財政状況調査（決算統計）からみた決算のため、
金額や分類が上記決算額とは異なります。

歳出 トップ3



民生費……福祉など市民の安定した生活に必要な基本的なサービスや、
施設に関する費用です。
総務費……市政全体の運営や支援に関する費用です。市民サービスの
向上や保障に貢献します。
教育費……教育施設の運営費、整備費等で、市民の教育水準向上や、
将来にわたって地域の発展につながります。

令和7年度 合志市一般会計補正予算

補正額

第4号 2億7,160万5千円 [増額]
第5号 3億3,214万9千円 [増額]
第6号 8,726万1千円 [増額]

総額

327億406万1千円

(主な内容)

第4号

定額減税補足給付金支給事業
2億7,160万5千円



第5号

LPガス使用世帯支援補助金交付事業
2,759万8千円



第6号

農地等災害復旧事業 7,877万6千円

令和7年8月10日からの大雨により、被災した農業
用施設及び道路等の災害復旧をするためのもの。

※今期定例会、総括質疑による緊急補正

防災行政無線維持管理事業

586万2千円

Jアラート受信機更新業務委託のためのもの。



条例改正 可決

●合志市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び合志市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

仕事と生活の両立支援の拡充に対応するため、関係条例の一部を改正するもの。

●合志市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例

手続等にかかる関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るため所要の改正を行なうもの。

他2件

契約締結 可決

総合センター自家用電気工作物等改修工事請負契約 2億179万円

総合センター「ヴィーブル」の経年劣化による故障のリスクが高くなっているため、キュービクル式高圧受電設備の改修及び空調設備の修理を行なうもの。

〔審査日程〕	
令和7年9月9日（火）	全体会 質疑および分科会（総務分科会・文教経済分科会・健康福祉分科会）を設置し、付託事件の審査を行なうこととした。
令和7年9月10日（水） ～12日（金）	分科会 3分科会による審査を行なつた。
令和7年9月18日（木）	全体会 分科会長報告を行ない、自由討議を経て総括質疑事項を決定した。
令和7年9月25日（木）	全体会 執行部に対する総括質疑の後、討論、表決を行なつた。

予算決算

移住支援事業について

- 問 ①移住支援事業の目的と実績の確認
②本市の課題である人材不足解消への移住支援事業の活用について

答 熊本県と県内市町村が連携し、東京圏からの移住促進を目的とする移住支援事業は、人口減少対策や人手不足解消を図る国の地方創生施策であり、本市にとっても若年層や子育て世代の移住、定着のための促進に係る有効な支援策の一つである。

住・定着のどちらなる促進に係る有効な支援策の一つである。本市では、これまで令和3年度に1件4名、令和5年度に3件11名の実績があるが、定着に至らない事例もあった。今後は、本事業を有効に活用すべく、本市の課題である特定業種等の人材不足解消へ向けた要件緩和等の県への要望、マッチング支援の推進などの取り組みと合わせて、課題解決のための独自支援策も研究していく。

自治会の加入率低下問題と対策について

- 問 ①自治会の加入率の現状確認
②加入率低下の原因とリスクの確認

答 本市の自治会加入率は令和7年5月時点で75.1%と年々減少しており、若年層や若年層の転入者の未加入が顕著である。自治会に加入しない原因としては、共働き世帯の増加や生活様式の変化、自治会活動の負担感などが考えられる。加入率低下は防犯・環境整備・防災など地域機能の衰退を招き、市政運営にも影響が大きい。

このようなことから、加入促進に向け、PR資料や不動産業界との協定、大学研究成果を活かした「自治会お試し加入サービス」の取り組みの検討などを進めている。

今後は、デジタルツール活用やインセンティブ制度など加入率向上へ向けた新たな方策を検討・研究し、地域の安全・安心や活性化を支える自治会存続に努めていく。

令和7年8月豪雨による農地等災害復旧への補助について

- 問 ①令和7年8月豪雨による被害状況の確認
②土砂崩れ等の被害に対する補助制度の確認
③本市独自の補助事業の計画について

答 8月豪雨により市内で家屋や道路、公共施設に被害が出る中、農業関係では農地の法面崩壊97箇所、農業用施設27箇所、計124箇所の被害が確認された。

これらの内、国庫補助の対象となるのは14箇所にとどまり、多くは補助対象外で所有者負担が残る。農家からの要望や、今定例会中に議論された市議会からの意見を踏まえ、国庫補助の対

象とならない一定規模の被害や、国庫補助金を活用してもなお高額な負担が発生する被害に対し、市独自の補助要綱等を制定し、復旧費用の2分の1・上限20万円とする補助金を交付したい。地域を支える農家への支援のため、予算案については今定例会中に上程し、早急に対応する。

有害鳥獣駆除事業について

- 問 ①有害鳥獣駆除事業の現状の確認
②新たな鳥獣による農業被害への認識
③有害鳥獣駆除事業の今後の展望について

答 本市では、鳥獣被害防止計画を策定しており、カラス・イノシシ・シカなどを対象に駆除隊が活動している。令和6年度はカラス202羽を駆除し、その他イノシシ・シカも捕獲した。カラスの駆除を行う場合は防災無線により事前周知、イノシシやシカの目撃情報が寄せられた場合は市ホームページへの掲載、警察署等の関係機関との連携などにより対応を実施している。また、新たな鳥獣による被害として、アナグマによるスイカ食害や、タヌキ・キツネによる飼料作物等の被害報告があがっている。近年のインフラ整備や開発による生息域減少からの出没増加が考えられ、警戒を強める必要があると考えている。今後は計画改定にて、新たな鳥獣を対象に加え、防護柵や電気柵等による対策を検討していく。

超高齢社会に対する市の対策について

- 問 ①高齢者数（前期・後期）の推移及び介護給付費・医療費の推移について
②令和6年度の健康福祉部機構改革後の高齢者に対する支援体制の確認及び今後の市の取り組みについて

答 本市では令和4年度以降、前期高齢者数を後期高齢者数が上回り、今後も増加が見込まれている。介護給付費は5年前と比較して約4億5千万円の増、後期高齢者医療給付費も5年前と比較して約18億円の増となっており、団塊の世代の移行や医療の高度化・高額化が要因と考えられる。こうした動向は計画の想定を上回っているため、フレイル予防施策にさらに注力する必要があると考えている。支援体制としては、健康ほけん課と高齢者支援課の両課にて、リスクの高い方の情報を共有し、本人の状況にあった介護予防事業を紹介するなど連携を強化している。超高齢社会で増大する医療・介護需要と人材不足に対応するため、ICT活用やデジタル化を進め、「市民が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまち」に資する福祉行政となるよう関係部局と連携して今後も取り組んでいく。

常任委員会・分科会の審査概要

総務

委 委 委 委 副 委
員 員 員 員 員 長 長

辻 瀬 後 坂 大 後
藤 藤 本 塚 藤
大 二 正 修 武 祐
郎 昭 一 人 薫 二

【常任委員会】 合志市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び合志市職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例

総務課

- 問 妊娠・出産時や育児期の職員への両立支援制度の利用にかかる意向確認等について、面談以外にも方法はあるのか。また、対象者数はどれくらいか。
- 答 面談以外にもメール等での利用対応をしたい。また、対象者数の把握はしていないが、公平に制度を利用できるよう配慮したい。

【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第5号）

総務課

- 問 女性職員対象キャリアデザイン研修の実施理由と階層対象は。
- 答 女性管理職は少なく今後、組織を担っていく一員としてのキャリア向上の意識づけを行なうため、主幹級以上の職員を対象として実施する。

令和6年度合志市一般会計歳入歳出決算

総務課

- 問 自治会加入率向上に向けた協議や対策等は行なっているのか。
- 答 未加入者や若い世代へ向けて、SNS等を活用し、区の活動紹介など情報発信を行なっていきたい。

市民課

- 問 市役所等の窓口を利用する市民には、マイナンバーカードを取得した効果や利点は無いのか。
- 答 書かない窓口として、証明等申請時にマイナンバーカードを活用し、自動で転記できるシステムを本庁に導入する。

9月12日 現地調査



防犯カメラ設置箇所
(合志工業団地入口 他2か所)



合志市防災拠点センター
(備蓄倉庫)

文教経済

委 委 委 委 副 委
員 員 員 員 長 長

澤 濱 上 吉 中 辻
田 元 田 永 元
幸 雄 一 欣 健
二 郎 也 司 緑 藍

【常任委員会】 令和6年度合志市水道事業会計利益の処分及び決算

水道課

- 問 木原野配水池有機フッ素化合物除去にかかる実証実験を踏まえて、今後の対応策は。
- 答 粒状活性炭による実証実験の結果は、定量下限値未満となり効果が確認できた。一方で、当施設を整備するには建設費及び維持管理費など多大な費用を要するなど課題もある。その他の対応策として、令和6年度から着手している水量が豊富な合生配水池から御代志配水池への送水管整備による配水区域の切り替えや、老朽化した井戸の更新に合わせた取水施設の能力向上など、早期に対応できる対策案を検討している。

【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第5号）

生涯学習課

- 問 施設予約オンラインシステムの運用について、空予約等への対応方法は。
- 答 一定期間経過後に自動キャンセルとするなどの運用を想定しているが、細かな運用基準等については令和8年3月の運用開始に向けて関係部局と協議を進めていく。

令和6年度合志市一般会計歳入歳出決算

建設課

- 問 新開線改良事業の具体的な内容は。
- 答 熊本天使園前の交差点において、渋滞緩和対策として、みずき台側から進行してくる車線に右折ポケットを整備するものである。

9月12日 現地調査



8月豪雨による
災害現場



健康福祉

委 委 委 委 副 委
員 員 員 員 長 長

犬 青 西 来 村 永
童 山 崑 海 上 清
正 隆 隆 恵 香 和
洋 幸 博 子 織 寛

【常任委員会】 令和6年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

健康保険課

- 問 特定健診受診率が向上しているのは、景品の効果か。
- 答 景品の効果もあるが、昨年度から健康保険課として新たな体制となり、未受診者勧奨の訪問や受診勧奨の電話を行う体制がとれたことも要因である。

令和6年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

健康保険課

- 問 国民健康保険の方に対して、歯科検診のクーポン券を発行しているのか。
- 答 全市民が対象で、20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳の方へ発行している。

【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第5号）

福祉課

- 問 障害者自動車運転免許取得・改造助成金について、現在の申請状況と、その要因は。
- 答 7月末時点で6件の申請があった。今年度開設の基幹相談支援センターでの周知も増加した要因である。

令和6年度合志市一般会計歳入歳出決算

福祉課

- 問 重度の障がい者に対する個別避難計画の進捗状況は。

- 答 昨年度、指定福祉避難所の受入れリストを作成し、常時電源が必要な人を登録した。今年度は基幹相談支援センターと協力して、障がい者の個別避難計画の策定支援を進める。

9月12日 現地調査



障がい者基幹相談支援センター



菊池広域連合火葬場内の無縁仏納骨堂

議員提出議案

畜産営農継続に関する意見書

合志市は、畜産をはじめ、園芸、普通作と多くの農産物が生産されており、特に酪農は農業県である熊本県の中でも屈指の生産率を誇り、我が国の食料安全保障の一翼を担っております。

また、本市に隣接する菊陽町に世界的な半導体受託生産企業が進出を決定して以降、国の経済安全保障の観点からも重要な役割を担う地域として期待され、半導体関連企業の集積要望が相次いでいます。これらの要望に応えるべく、インフラ整備に加速度的に取り組んでおります。

急激に開発が進むなかで、多くの畜産農家においては営農継続に対する不安と懸念が増加しており、バランスある産業振興や環境との調和のためにも、更なる対応を講じていく必要があると考えます。

したがって、本市議会は、下記の支援を国に対して強く要望します。

記

- スラリー（家畜排せつ物）の処理、利活用に関する新技術の研究開発、並びに開発された技術の導入や普及のための財政支援策を講じること。
- 飼料生産に必要な農地の代替地の確保及びインフラ整備等で分断された農地の利活用に資する財政支援策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和7年9月29日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

農林水産大臣 あて

提出者…文教経済常任委員長 辻 藍

熊本県に畜産営農継続に関する要望書を提出しました

青木照美議長が、竹内信義副知事に直接手渡しました。副知事は「国や合志市、関係自治体と連携して対応を講じていく」と応えました。

来海恵子副議長、辻藍文教経済委員長が同行しました。



脳脊髄液減少症医療改善を求める意見書

脳脊髄液減少症は、脳脊髄液が何らかの理由で硬膜外腔に漏れ出す、または脱水などで髄液が減少してしまい、脳神経が刺激されてさまざまな症状を引き起こす病気である。具体的には、起立性頭痛、頸部痛、恶心、めまい、耳鳴り、聴覚過敏、光過敏、視機能障害、うつ、全身の倦怠感、ふらつき、高次脳機能障害などの症状が挙げられる。発症の原因としては頭や背中、腰などに強い衝撃を受ける外傷性や、病気の治療や検査などの医原性が挙げられるが、原因が不明な場合もある。

また、原因不明の頭痛やめまい、倦怠感を訴えている不登校の児童生徒や起立性調節障害と診断されたが治療しても改善しない児童生徒の中には、脳脊髄液減少症が原因の可能性がある者もいる。しかし、通常の検査では診断が出来ず、専門医が髄液漏れの診断可能な検査（放射性同位元素検査）をして診断されるため、発見が非常に難しいのが現状である。

その上、この病気の大変なところは、完治が無く長期間において症状が続き長期的ケアを必要とすることである。唯一漏れを止める治療のプラッドパッチ療法をしても漏れはなかなか治まらず、複数回行なうことが一般的である。

脳脊髄液減少症患者は全国に数十万人いると言われ、多くが難治性の患者である。しかし、難治性の患者の確立した治療法もなく、難病指定もされていない。連日昼夜問わず続く頭痛に効果のある薬は無く、苦しんでいる患者は全体の半数以上いると言われており、難治性患者そして患者家族も限界となっている。早急に難治性患者を救済するために、新しい治療法の研究、そして、支援体制の整備が必要である。

こうした観点から、国においては、脳脊髄液減少症を十分認識され、医療体制を改善できるように下記の措置を講じられるよう強く要請する。

記

- 国の研究機関等においては、難治性疾患の診断基準を明確にするとともに、早急に治療方法の研究開発及び治療体制の構築を開始すること。
- 脳脊髄液減少症のうち難治性について詳細に実態を把握し、長期的な症状を抱える患者の相談体制を整えること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出します。

令和7年9月29日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

厚生労働大臣

文部科学大臣 あて

提出者…合志市議会議員 大塚 薫 ほか13名

議員と市民との意見交換会

9月30日(火)に、議会運営委員会主催の市民との意見交換会が開催されました。今回は地域おこし協力隊・生涯学習団体・食生活改善推進員協議会の方々と、「地域おこし協力隊から見た合志市」・「地域とつながり、世代を超えて参加できる生涯学習拠点づくりについて」・「食と健康について」をテーマに、3委員会に分かれて、現状と課題をワークショップ形式で話し合いました。現場の声を聞くことができ、大変参考になりました。

① 地域おこし協力隊

総務

「地域おこし協力隊から見た合志市」

- 現状**
- 業務上では地域に溶け込んでいるが、プライベートでの付き合いはない。
 - 祭りなど多くの市のイベントに参加している。
 - 教育機関と連携して活動している。

- 課題**
- 地域との関わりが不足している。
 - クリエイター塾の認知度が低い。
 - 協力体制が分からず、どこに相談するのか不明である。



参加者の 主な感想

- 今回参加し、議会の雰囲気が感じられた。議員の市民の意見を聴こうとする姿が印象的だった。
- 毎年計画してほしい内容だった。市に還元できることを探して活動していきたい。
- 自分たちの活動内容を知ってもらう、良い機会だった。楽しく話し合いができた。

② 生涯学習団体

文教経済

「地域とつながり、世代を超えて参加できる生涯学習拠点づくりについて」

現状

- クラブこうしの参加者は500人／900人が小学生である。
- グラウンドゴルフは、定期的に実施している。
- ヴィーブルFUNクラブはトランポリンが主で、2～70歳代の400人が参加している。
- 三つの木の家で、子ども向け体験型プログラムを開催している。

課題

- 市内のグラウンドが少ない。
- 指導者の確保が難しい。
- 開催場所の確保や設備の修繕。



③ 食生活改善推進員協議会

健康福祉

「食と健康について」

現状

- 会員が49名だが、活動しているのは半数である。推進員養成講座を開催し、会員を募集している。
- 幼児、小中学生、働く女性、男性、シニアと幅広い世代の方を対象に食育や郷土料理の教室を開催している。
- 市民まつりや防災訓練など市の行事に参加している。

課題

- 会員増強のために、推進員養成講座を毎年開催する。
- 多くの方に、活動や行事を知らうため、市のホームページにもっと掲載する。
- 研修等、必要な予算を確保する。



一般質問

各議員の一般質問の様子は、QRコードでインターネット録画をご覧いただけます。



濱元 幸一郎議員

オスプレイの低空飛行訓練は中止を

問 陸上自衛隊V22オスプレイが佐賀空港に配備された。低空飛行訓練が九州7県85箇所に広がる可能性があり、そのうちの1箇所が黒石原演習場である。重大事故を繰り返しているオスプレイが本市上空を飛行する可能性がある。市民の安全を守るために、オスプレイの飛行について、国・県に中止を求めるべきだと考えるが市の見解は。

答 安全保障は国の専管事項である。しかし、市民の安全を守るのが市の責務である。市民が不安にならないように、市民への早期の情報提供という形で、県と連携をとりながら、国に対して要請をしっかり行なっていきたい。

その他の
質問事項

・地下水涵養対策について



中元 緑議員

産後ケア回数と時間の見直しを提案

問 産後ケアの回数制限を訪問型3回・通所型5回に分けず、合わせて8回とするなど、柔軟に利用できないか。

答 R6年度実績は宿泊52泊、訪問112回、通所304回。訪問減は通所導入の影響と考える。回数設定は利用者アンケートで意見収集し、判断する。

問 通所型に5時間枠を設け、休憩利用（レスパイト）を可能にできないか。

答 5時間枠についても、ニーズ調査の質問項目に加えるとともに、施設等の受け入れ体制について協議を行なっていく。

その他の
質問事項

・政策立案体制の強化による市民サービス
向上について その他 2件



永清 和寛議員

落雷被害から命を守る対策を

問 市内各校の避雷針の設置状況は。

答 合志小学校、合志南小学校、西合志中央小学校、西合志中学校、合志楓の森小・中学校には設置していない。雷サージ被害があった合志楓の森小・中学校には、本年度、被害を軽減する避雷器を設置した。また、他校は避雷器の効果を検証して判断する。

問 部活動などで人的被害が発生しているが、本市の対応は。

答 県からの通知に沿って、気象庁の雷予報の事前確認に併せ、雷を予測する雷ナウキャストを活用し、野外活動の判断を行なう。また、全校に対し、危機管理マニュアルや学校防災計画の見直しと、落雷事故に関する研修の実施及び参加を進める。

その他の
質問事項

・施設や設備の老朽化について

・住宅街の危機管理について



齋藤 正昭議員

外国人との共生社会構築（民泊問題）について

問 合志みなみプレイスや、かすみヶ丘団地の市街化調整区域住宅開発において、居住用住宅の民泊施設としての利用は可能か。

答 2地区とも、地区計画による第一種低層住居専用地域相当の制限で、アパートは原則建築できない。一般住宅の宿泊施設としての活用は民泊新法により県への届出で可能であり、用途地域についての規制はない。

問 合志みなみプレイスで7月末現在県のホームページで23か所の届出があるとのことだが、県から直接の情報は無いのか。また、住民トラブル回避のため県とのルール作りが必要では。

答 トラブル防止のため、国が策定したガイドラインがあり、状況に応じて県とも情報共有をし、トラブル防止に努めたい。

その他の
質問事項

・中学校の部活動地域移行について



大塚 薫議員

脳脊髄液減少症について

問 理解が得にくい脳脊髄液減少症について、本市のホームページに熊本県の関連ページへのリンクを設置することで、市民への周知と患者支援に役立つと考えるが、市の見解を求める。

答 県ホームページ上のサイトにアクセスできるようにリンク先を設定し、疾病の特殊性など、市民に理解を得られるように周知に取り組む。

問 文部科学省からの脳脊髄液減少症に関する事務連絡を受けて、本市の学校現場での対応状況について市の見解を求める。

答 校長会や研修を通じて教職員への周知を進め、養護教諭を中心に脳脊髄液減少症への理解を深め、適切な対応に努める。

その他の
質問事項

・医療的ケア児・者等の非常用電源確保について
・避難所となる小中学校体育館への空調設置について 他



上田 欣也議員

市の公式ホームページについて

問 市のホームページのリニューアルは、直近でいつ行なわれたか。

答 平成31年4月1日である。

問 ホームページを設置している目的は何か。

答 市民に迅速かつ正確な行政情報を提供することに加え、外部への魅力や取組を広く周知することなどがある。行政が掲げた政策についての情報公開と透明性の確保、そのためのデータ等の

根拠の開示などが行政の信頼を向上させると考えている。

問 リニューアルの予定はあるのか。

答 前回から6年ほど経過、スマートフォン対応や快適性、利便性の向上などの改善、見直しを計画し、適宜対応していきたい。

その他の
質問事項

・令和4年第2回定例会における施政方針について

・図書館について



議員研修 令和7年8月7日(木)

菊池地域市町議会議員研修会が菊陽町の日台会館で開催されました。「半導体産業集積強化に向けた熊本県の取組みについて」と「菊池地域の渋滞対策について」それぞれ熊本県の担当課から説明があり、その後、意見交換を行ないました。地域の発展と住民生活の利便性のバランスについて、活発な議論が交わされました。



献穀事業 令和7年10月4日(土)

五穀の収穫を祝い感謝する宮中祭
「新嘗祭」に奉獻する稻穂を刈り取る「拔穂祭」が執り行なわれました。献穀者の嶋田様夫妻と田男・早乙女の衣装を身にまとった上庄のこどもたちが稻穂を鎌で収穫しました。新穀の収穫に感謝する奉告祭の後、宮中へ奉獻されます。



行政視察を受け入れました



視察日	議会名	視察の目的	議会対応者
7月16日(水)	神奈川県寒川町議会 会派 自由民主党 会派に属さない議員	株式会社こうし未来研究所と 地域活性化、まちづくりの取組みについて	青木照美議長
8月1日(金)	広島県三次市議会 総務常任委員会	株式会社こうし未来研究所について	後藤祐二総務常任委員長

賛否一覧表

※議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり
可=可決 承=承認 同=同意 適=適任 認=認定 可認=可決及び認定
※採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり
○=賛成 ●=反対 △=欠席 長=議長 (議長は、議決には加わりません。可否同数となったときは裁決権を行使します。)

令和7年第3回定例会審議結果 (9月2日~9月29日)

議案等の名称		議員名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	賛成	反対
			議決結果	中元	村上	大塚	永清	辻	辻大二郎	後藤祐二	犬童正洋	澤田雄二	齋藤正昭	青山隆幸	西島博	後藤修一	濱元幸一郎	上田欣也	坂本武人	吉永健司	来海恵子	青木照美		
条例	議51	合志市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び合志市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議52	合志市議会議員及び合志市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議53	合志市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	16 1
	議54	合志市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	長	16 1
	承4	専決処分(令和7年度合志市一般会計補正予算(第4号)の決定)の承認	承	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議55	令和7年度合志市一般会計補正予算(第5号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議56	令和7年度合志市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議57	令和7年度合志市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	16 1
	議58	令和7年度合志市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	16 1
	議59	令和7年度合志市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
市長提出議案	議60	令和7年度合志市水道事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議61	令和7年度合志市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議62	令和7年度合志市下水道事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議63	令和7年度合志市一般会計補正予算(第6号)	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議64	令和6年度合志市一般会計歳入歳出決算	認	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	16 1
	議65	令和6年度合志市介護保険特別会計歳入歳出決算	認	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	16 1
	議66	令和6年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	16 1
	議67	令和6年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	16 1
	議68	令和6年度合志市工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算	認	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議69	令和6年度合志市下水道事業会計決算	認	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17 0
その他	議70	総合センター自家用電気工作物等改修工事請負契約の締結	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議71	財産の無償譲渡	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議72	財産の取得	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議73	財産の取得	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議74	合志市道路線の廃止	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議75	合志市道路線の認定	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議76	委提2 「畜産営農継続に関する意見書」の提出	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0
	議77	委提3 「脳脊髄液減少症医療改善を求める意見書」の提出	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17 0

令和7年第4回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
11	26	水	本会議	市長提出議案上程及び提案理由説明
	27	木	本会議	一般質問
12	1	月	本会議	質疑、各常任委員会付託
	3	水	予算決算常任委員会	質疑、各分科会分担付託等
	4	木	常任委員会(分科会)	付託事件の審査
	5	金	予算決算常任委員会	分科会長報告、自由討議
	10	水	予算決算常任委員会	総括質疑、討論、表決
	16	火	予算決算常任委員会	総括質疑、討論、表決
	18	木	本会議	委員会審査報告(質疑、討論、採決) 追加議案(上程、質疑、討論、採決)

秋も深まり、市内の行事やお祭りもございを見せています。市議会では、毎年恒例の「合志市企業等連絡協議会ミニバレー大会」に出場しました。一勝一敗という結果でしたが、けがもなく無事に終えることができ、企業・団体の皆さんとの交流も一層深まりました。会場では熱い試合が繰り広げられ、チケットあふれるブレークや、一生懸命に応援する姿から、合志市の企業の強さを感じました。9月定例会では、令和6年度の決算審査を行いました。各常任委員会での議論を通じて、事業の成果や課題を確認し、次年度以降の行政運営に反映されるよう意見を交わしました。今号では、決算の概要を紹介しています。どのような分野にどれくらいの費用が使われているのか、ぜひご覧ください。広報委員会では、委員長の熱い思いのとど、「まつり」をテーマに紙面づくりを進めています。今号では、各地区的夏まつりを紹介しました。広報を通して、市の取り組みや地域の活動を少しでも身近に感じていただければ幸いです。これからも「まつり」を大切に、地域の皆さまとともに歩んでまいります。ご意見やご感想は、お近くの議員までお気軽にお寄せください。



議会広報調査特別委員会
インターネットで議会の様子を
ぜひご覧下さい。
合志市議会 検索

ホームページアドレス
<https://www.city.koshi.lg.jp/gikai/default.html>

編集後記